

『修学に困難を抱える学生を 福祉工学で支援する』

～3人の専門家と一緒にこれからの「働く」を考える～



「できる」を増やす
支援技術



学びやすさ・働きやすさ
をつくる工学



学生の実践から学ぶ
支援のヒント



特性に合わせた
ちょっとした工夫

最前線を知る専門家のリレー講演

と

明日からの支援を考える全員討論

開催概要

開催日時： 令和8年 9月5日(土)
14:00～16:00 (受付13:30～)

会 場： 久留米大学御井キャンパス
本館2階12A教室

参加費： 無 料

お 申 込： 下記【QRコード】から



QRコードを読み取り、
事前のお申込みをお願いいたします

プログラム

- | | |
|---------|---|
| ● 14:00 | 開 会 あいさつ
高等教育コンソーシアム久留米理事長 内村 直尚 |
| ● 14:05 | 講 演 ① 小越 咲子氏
「個別教育支援システム「ぴこっと」の開発史」 |
| | 講 演 ② 小越 康宏氏
「外部支援機器の開発について」 |
| | 講 演 ③ 高橋 遥佳氏
「現場におけるぴこっと活用事例、進路事例紹介」 |
| ● 15:20 | パネルディスカッション（※講師全員による討論・質疑応答） |
| ● 15:50 | 総 括 |
| ● 16:00 | 閉 会 |

お問合せ・運営

主催・共催

お問合せ先

主催：高等教育コンソーシアム久留米
共催：久留米学術研究都市づくり推進協議会
事務局：0942-43-7811
メール：consoibennto@gmail.com

—登壇者ご紹介—



小越 咲子 氏

教育現場を起点にICTやAI、工学技術を活用し、学ぶ人と支援する人の双方を支える仕組みづくりに取り組んでいる。ICF（国際生活機能分類）の視点から、困難を本人の特性だけで捉えるのではなく、環境や支援のあり方にも着目。一人ひとりの興味や好奇心を広げ、好きなことや得意なことを強みへと育てながら、学びと将来の可能性を広げる支援を実践。教育・福祉・家庭・就労をつなぐ支援技術の研究と社会実装を進めている。

福井工業高等専門学校 未来社会デザイン工学科 教授
株式会社みらいのでざいん 代表取締役CEO

小越 康宏 氏

福祉工学の視点から、修学に困難を抱える学生を支援するための評価技術や学修支援システムの研究・開発に取り組む。工学と福祉を融合させ、学生一人ひとりの「できる」を広げる環境づくりを推進し、教育現場への実装にも力を注いでいる。

福井大学 学術研究院 工学系部門 知能システム工学講座 教授
一般社団法人 日本設備管理学会 会長



高田 遥佳 氏

福祉の現場で培った視点を基盤に、障害や特性のある若者が高等教育から就労へ円滑につながるための支援を実践している。高等教育の段階での本人と家族、学校、福祉さらに医療も含めた連携の重要性に着目した支援に取り組む。「なぜ学ぶのか」「なぜ働くのか」を一緒に考えることで、自らの力を引き出す支援を実践しており、豊富な現場経験に根差した柔軟な発想で若者を支える。

特定非営利活動法人 夢つむぎ 副理事長
理学療法士、社会福祉士、精神保健福祉士



開催概要

開催日時： 令和8年 9月5日(土)
14:00~16:00 (受付13:30~)
会場： 久留米大学御井キャンパス
本館2階12A教室
参加費： 無 料



お申込みは【QRコード】から
QRコードを読み取り、
事前のお申込みをお願いいたします

お問合せ・運営

主催・共催
主催：高等教育コンソーシアム久留米 
共催：久留米学術研究都市づくり推進協議会
お問合せ先
事務局：0942-43-7811
メール：consoibennto@gmail.com